

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立北鶴橋小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	生野区
学 校 名	大阪市立北鶴橋小学校
学 校 長 名	川崎 菜穂子

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立北鶴橋小学校では、第6学年 13名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立北鶴橋小学校の結果概要

【国語】

国語科の平均正答率は50ポイントで、大阪市を9ポイント、全国を10.9ポイント下回る結果となった。平均無解答率は4.1ポイントで、大阪市を1.3ポイント下回り、全国を0.7ポイント下回る結果となった。

【算数】

算数科の平均正答率は53ポイントで、大阪市を3ポイント、全国を3.4ポイント下回る結果となった。平均無解答率は2.4ポイントで、大阪市を0.4ポイント上回り、0.8ポイント上回る結果となった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

国語科では、領域別で見るとほぼ全国・大阪市の平均正答率を下回ったが、昨年度課題となった「書くこと」については、平均正答率を上回った。年度当初より授業力向上に向けた研究や、学年に応じて三行日記、授業の振り返り、文の要約等「書くこと」についての取り組みを継続的に取り組んできた成果だと考えられる。今後についてはさらに国語科の全般的な基礎・基本の学力の向上が必要である。

【算数】

算数科では、領域別で見るとほぼ全国・大阪市の平均正答率を下回ったが、「変化と関係」の領域については、大阪市平均を上回った。算数科では、平均無解答率が全国・大阪市平均を下回っているため、最後まで諦めずに粘り強く問題に取り組む姿勢が見られる。継続的に行っている少人数指導による個に応じた指導やデジタルドリルを活用することにより、さらに基礎・基本の定着を図っていくことが必要である。

質問調査より

「学校に行くのは楽しいと思いますか。」の質問では、「当てはまる」と回答した児童の割合が全国・大阪市平均を13%以上大きく上回った。また、「先生はあなたのよいところを認めてくれていますか。」という質問では、全国平均を上回った。この結果から、教職員と児童の信頼関係が構築されており児童は学校が楽しく居心地のよい場所と捉えていると考えられる。今後も、自己肯定感や自己有用感につながる取り組みを継続していく。

「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」という質問では、「当てはまる」と回答した児童は全国・大阪市平均共約17%上回った。日々の様々な教育活動の中で常に「話し合う」活動を取り入れる実践がこの結果につながっていると見える。今後についても継続的に取り組みを進めていく。

今後の取組（アクションプラン）

・国語科「話すこと・聞くこと」については、特に課題があった。すべての教育活動で「話し合い活動」を大切にし、自分の考えを表現したり、相手の話を聞いて情報を選択してきたりしてきた。今後は、話し合う前に自分の考えを記入しておいたり、まとめておいたりする時間をしっかり確保し、自信をもって目的や意図に応じた「話し合い活動」ができるように取り組んでいく。

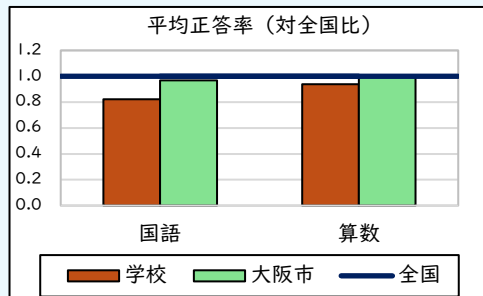
・国語科・算数科の学習では、個に応じた少人数指導やデジタルドリルの活用により、引き続き基礎・基本の定着を図る取り組みを行っていく。

・児童が「わかるよこび」を実感できるようにするために、教員の授業力向上に向けた研究会や研修会を適宜行い、教員一人ひとりの授業力向上・資質向上をめざしていく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

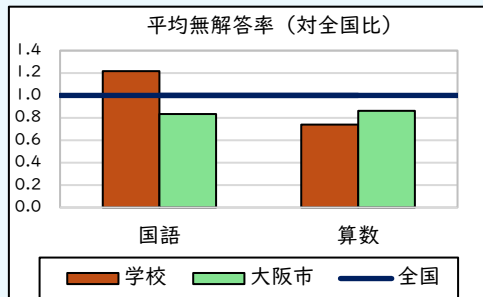
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	50	53
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



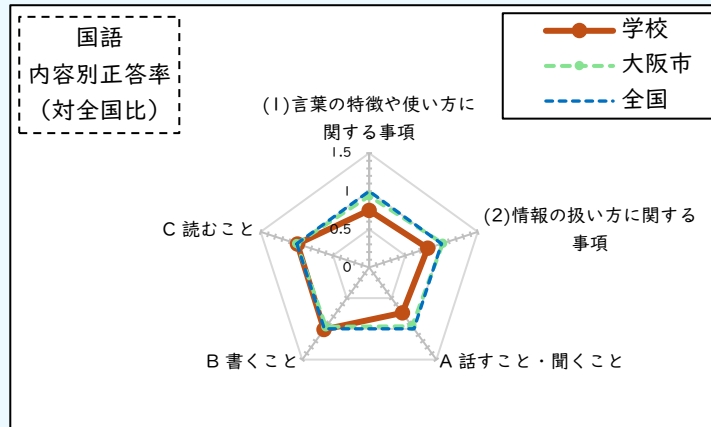
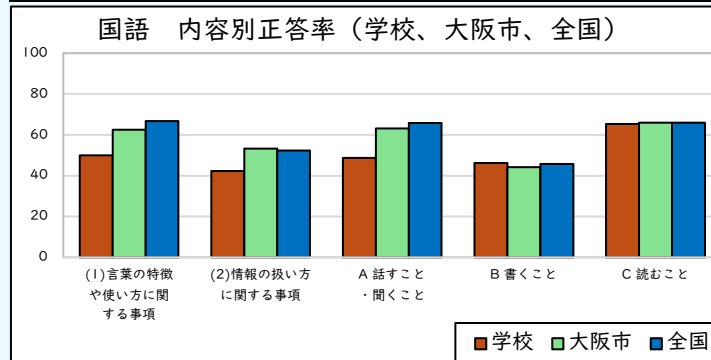
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	4.1	2.4
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



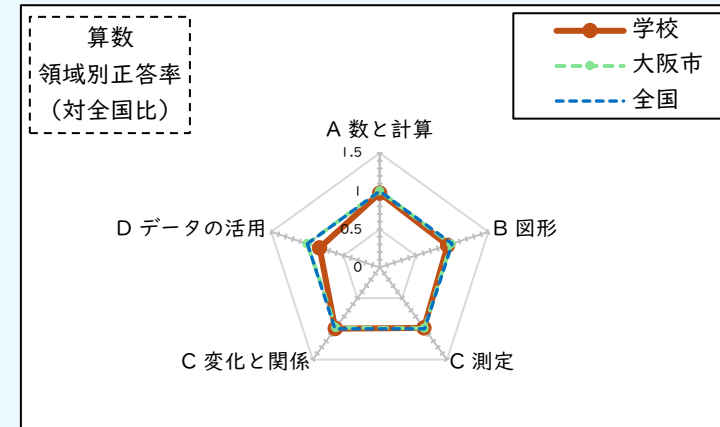
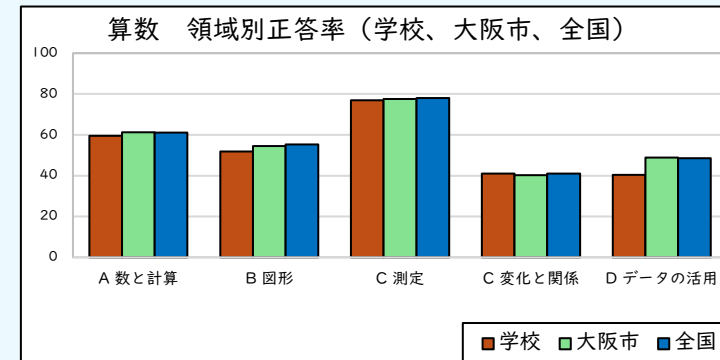
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	50.0	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	42.3	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	48.7	63.1	65.8
B 書くこと	2	46.2	44.2	45.7
C 読むこと	2	65.4	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	59.6	61.2	61.1
B 図形	4	51.9	54.5	55.3
C 測定	1	76.9	77.5	78.1
C 変化と関係	3	41.0	40.3	41.1
D データの活用	4	40.4	48.8	48.6



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

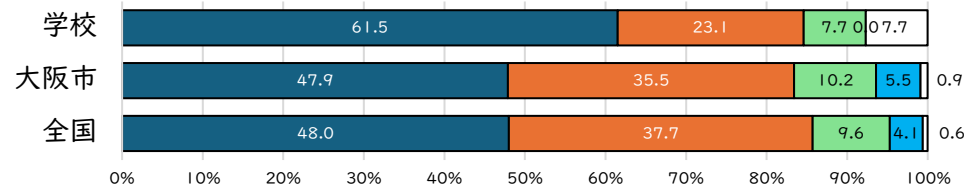
質問番号

質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(15)

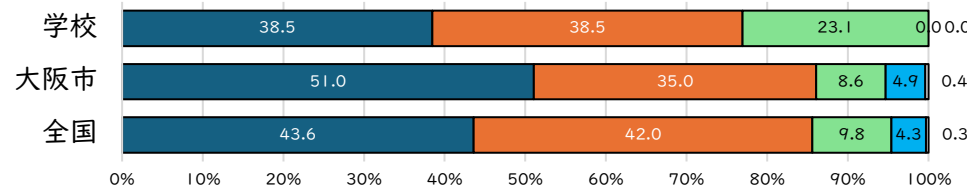
学校に行くのは楽しいと思いますか



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(8)

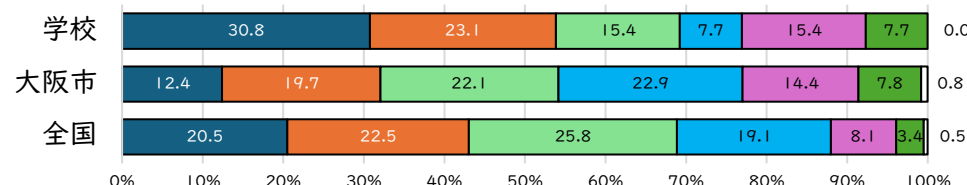
自分には、よいところがあると思いますか



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(35)

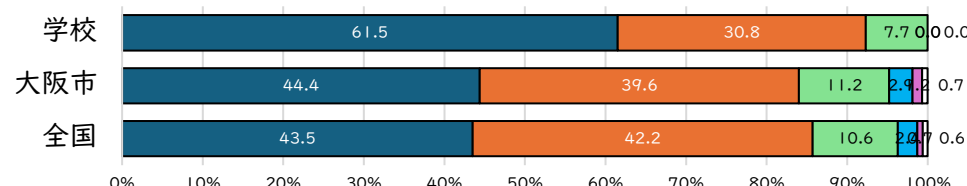
5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



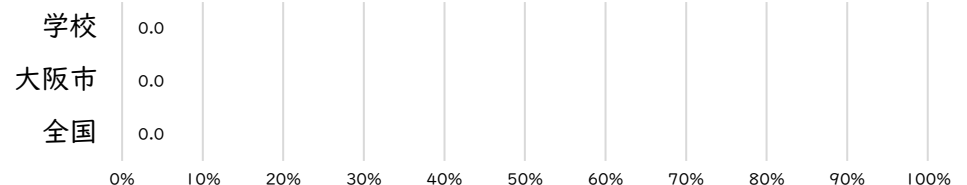
- 1 ほぼ毎日（1日に複数の授業で活用）
- 2 ほぼ毎日（1日に1回くらいの授業で活用）
- 3 週3回以上
- 4 週1回以上
- 5 月1回以上
- 6 月1回未満

(42)

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない
- 5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない



令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

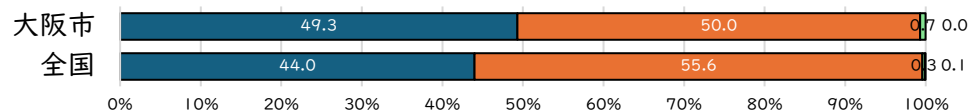
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(16)

ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか

【学校の回答】 1 十分に取り入れている

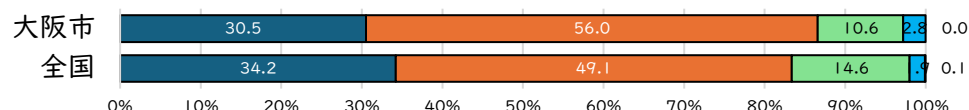


1 十分に取り入れている
2 一部取り入れている
3 全く取り入れていない

(24)

児童にとって、学校施設全体として、児童が学びや生活がしやすく、居心地のよい建物だと思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

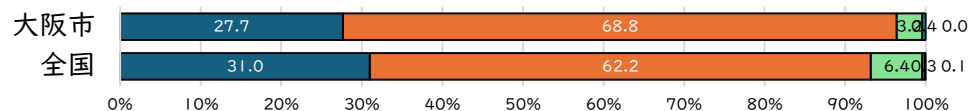


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(29)

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う



1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

